

将来像

一人ひとりが自分らしくいきいきと、安心して暮らしていけるように、認め合い、支え合いながら、共に生きていく地域社会

基本目標

基本目標1
一人ひとりの思いを受け止め、福祉サービスや支え合い活動を充実する。

基本目標2
一人ひとりの思いをつなげ、様々な担い手が連携できる仕組みをつくる。

基本目標3
地域福祉を推進するための基盤をつくる。

分科会における検討テーマ

第一分科会
「安心・自立・弱者支援に関すること。」

第二分科会
「相談・支援・解決に向けての仕組みに関すること。」

第三分科会
「意識づくり・福祉教育に関すること。」

第四分科会
「担い手に関すること。」

第五分科会
「支え合い活動に関すること。」

基本施策（案）

(1)孤立しない見守りのネットワークをつくる。

(2)支援につながり難い人を支える環境をつくる。

(3)安心して暮らし続けられる（生活できる）地域をつくる。

(1)身近で（に）相談できる人や窓口を充実する。

(2)どんな相談も受け止め、整え、つなぐ総合相談のしくみをつくる。

(3)連携・ネットワークの体制をつくる。

(4)支援が必要な人を支える体制をつくる。

(1)学び合い、交流し合う（する）場をつくる。

(2)学び等（・交流）を推進するための体制をつくる。

(1)地域福祉を進める受け皿を充実する。

(2)地域福祉を進める担い手を確保できる体制をつくる。

(3)地域福祉を進める担い手を支援する体制をつくる。

(1)地域の課題を地域で解決する取り組みを進める。

(2)地域のニーズに対応した活動づくりを進める。

(3)多様な人、組織、団体、機関が協働した活動の展開を促進する。

(4)支え合い活動を支援する取り組みを充実する。